

1人の首切りも許さない

N関労東京 2006.5 No10

東日本NTT関連合同労働組合東京支部

東京都千代田区若本町2-17-4 米澤ビル1階 労働運動センター
TEL (03)5820-2070 FAX (03)5820-2080
E-mail hiros55@amber.plala.or.jp
http://www.n-kanrou.com

発行責任者: 奥山 信義 編集責任者: 田原 博

年間を通じて祝日は全員出勤!?

NTT東日本一茨城「労基法上問題ない」と強弁



06.5.1日比谷メーデー

N関労茨城支部

「祝日全員出勤線表を廃止し、休日とすること」を要求

第二回団体交渉で「祝日全員出勤問題」が一步前進しました。(株)NTT東日本・茨城 営業部第二営業部門 B B センタ カスタマー担当は、課長、課長代理を除き年間を通して祝日全員出勤という線表になっています。

職場の仲間は「私たちがなぜ全員出勤なのか。全員出勤では用事で休みたい時、交替もできない。交替での出勤にしてほしい」と訴えてきましたが、会社は「組合(NTT労組)とも了承済み。祝日全員出勤は業務運営上必要」と変更しませんでした。

N関労茨城支部は、問題の解決に向け要求書を提出。団体交渉を行い、一定の前進を勝ち取ってきました。

交代する人もいない

今年のゴールデンウィークは9連休と騒がれていましたが、職場では、祝日全員出勤線表により勤務させられています。

今年のゴールデンウィークは9連休と騒がれていましたが、職場では、祝日全員出勤線表により勤務させられています。

一度は改善を明言、その後白紙撤回

第一回団体交渉当日(2月16日)、朝のミーティングで担当課長より「3月4日より祝日全員出勤線表を変更し四班の内、一班のみの出勤とする」と周知があり当該職場の仲間は一定程度改善されたところを、2月23日「白紙に戻す」との周知が突然されるといふ事態になりました。「改善された」と言はせて「白紙にする」というやり方は、働く

たいときは「年休」にさせられています。

N関労は茨城支部結成後直ちに、「祝日全員出勤線表を廃止し、休日とする」とを要求しました。

世間は連休や9連休だというのに… NTT-茨城 祝日を有無を言わず出勤指定

		Aさん	Bさん	Cさん	Dさん
4	29 土	みどりの日	週休	週休	週休
	30 日		勤務	週休	週休
5	1 月		勤務	勤務	勤務
	2 火		週休	勤務	勤務
	3 水	憲法記念日	勤務	勤務	勤務
	4 木	国民の休日	勤務	勤務	勤務
	5 金	こどもの日	勤務	勤務	週休
	6 土		週休	週休	週休
	7 日		週休	週休	勤務
	8 月		勤務	勤務	勤務

真にやむを得ない場合は祝日とする

第二回団体交渉(4月25日)でこの問題について会社の考えを正すとともに職

者の気持ちを全く無視したやり方であり、職場の仲間の落胆は計り知れないものでした。

場実態をもとに改善を求めました。(交渉の概略は、左表参照) 会社は私たちの団

「主」に冠婚葬祭だが、申し出たものは理由を個別に聞いて対応する」という答えでしたが、これまで頑なに認めなかった休日全員出勤問題に一定の前進がありました。今後は、「真にやむを得ない理由は、課長

団体交渉模様

06年4月25日

会社 勤務線表を団体交渉で扱うつもりはない。労働基準法では週40時間、NTTは37時間30分である。交代制勤務ができるようになっていない。

業務運営上の必要性から全員休日出勤をお願いしている。就業規則でも「会社の必要に応じて休日の勤務を命ずる」となっている。

組合 全員休日出勤は真にやむを得ないとは思えない。どのような業務で必要と判断しているのか。

会社 ここで答える問題ではない。勤務時間は会社の裁量権の問題であり担当課長が判断するものである。

組合 当該課長と交渉しろということか。祝日が全員出勤では休みたい時でも交代できない。祝日休みたい時は年休を取っている。その時は代休も祝日手当も出ない。そのことをどう考えるか。

会社 休日を年休で取得している問題は、実態を調査し改善していきたい。

メーデー集会

5.1

77回メーデーは、日差しがまぶしい東京、白比谷野外音楽堂で「働く者の団結で生活と権利、平和と民主主義を守る」とのスローガンのもと、行われた。



N関労は東京、千葉そして茨城支部から、20数名の組合員が参加。

集会では、労働契約法制に反対し、国鉄闘争に勝利し、国民投票法案に反対する発言があつた。

集会後、新橋・土橋までデモを行った。
メーデーは政治経済の矛盾に対する怒りを、各労働組合が結集して、政府、企業に対する示唆行動である。が、はたして現状はどうか疑問が多い(永元)

5月3日、千葉県「憲法集会」が開催された。

500名参加で会場がほぼいっぱい。昨年に比べさらに運動が広がった。

パナルディスカッションでは、元フジTVアナ・山川建夫さんの軽快で的確な司会のもと、明星大学教授で憲法学者の斉藤和夫さん、記録映画作家の高岩仁さん、女性史研究家の鈴木裕子さんの普段は聞けない貴重な話を聞くことができた。特に高岩さんの、フィリピンやインドネシアにお

5.3 憲法集会

る記録映画では一般には報道されない、現地の人に「日本の資本による、第二の侵略戦争」と言われる、軍隊や爆弾を使って住民を追い出し進出する日本企業、さらに、その工場が撒き散らす深刻な環境汚染の実態など強烈な印象を受けた。最後にN関労千葉支部女性執行委員のAさんによる集会宣言は堂々とすばらしい内容でした。

集会後は、市内をデモ行進し憲法を守るようと訴えました。(平野)

NTT年金減額不承認に対し、国を提訴

退職者への企業年金給付の削減を厚生労働省が認めなかったのを不服として、NTTは1日、国を相手取って処分取り消しを求め行政訴訟を東京地裁に起こした。

訴状は、減額申請にあたっては、国が定めた「対象者の3分の2以上の同意」などの要件を満たしている、厚生省が「債務超過である場合」などしか経営悪化による減額を認めないのは、法律を厳しく解釈しすぎている、というもの。

しかし、「同意書」は、脅し、だましのなかで取られた。厚生省が「不承認」とマスコミに報じられるや、OBの方から「実は強制的に書かされた」「わずかの減額。私の方で(現役の後輩)同意書出しておくから、とい

任を伴う広域配転の解消、育児介護休業法を遵守し3名の組合員を地元に戻すことなどの要求を掲げ、全労協、06けんり春闘の全国統一行動として3月17日、始業時から8名が半日拠点ストライキに突入した。他のN関労組合員は、一日年休行動。神奈川支店と「シ」NTTマ志木支店でスト突入集会を開催し、NTTに申入れを行った。その後、持株会社前に結集。電通労組とともに「Hさんを品川ツインズへ配転させる」等のシュプレヒコールを行い、持株会社

契約更改と労働者の今

2

有期契約者が契約で直面する「更改不可」「雇い止め」の原因には、上司の好き嫌いなど「本来の仕事」とは違うケースも多い。

私が2年間闘い続けている「言いがかりをつけての退職強要」の原因も、「この会社の中では、正社員だつたらされなかった。正社員にはあの見下した仕打ちが絶対にはない、使い捨ての契約社員だからなのだ」という思いです。最初の上司の言葉に「うちの仕事をあなたにさせられないから、辞めてもらうから」があります。上司にとっての「うち」とは「会社」正社員であり、どんなに会社に貢献し、回りが認める仕事をしてもらっても「正社員じゃないから言いがかりを

整備の余地は企業と有期雇用者の双方にあります。

企業としての契約形態の見直し(特定上司の判断のみではない公平な評価と判断)、出勤状況や仕事内容の評価での長期契約更改の保障。正社員との賃金以外の落差縮小(夏休みなど正社員6日間その他契約パートはゼロ)が確実な業務態度。

る。正社員は大きなミスをして見えて見ぬ振りを守る。構図がくっきり見えます。自分自身の体験から、同様に切り捨てられている有期雇用者が多いのではないかと思います。有期雇用者が安心して働く環境

人柄の人ならば長く勤務してもらいたいと思われような仕事と業務態度。

企業の「正社員との不公平を感じさせない配慮」が有期雇用者の意欲向上につながる、企業業績の向上につながる。

有期雇用者側がこの仕事と人柄の人ならば長く勤務してもらいたいと思われような仕事と業務態度。

企業の「正社員との不公平を感じさせない配慮」が有期雇用者の意欲向上につながる、企業業績の向上につながる。

06春闘 3・17ストで闘う

横浜ラウンドマーク前スト突入集会



NTTマ志木支店でスト突入集会を開催し、NTTに申入れを行った。その後、持株会社前に結集。電通労組とともに「Hさんを品川ツインズへ配転させる」等のシュプレヒコールを行い、持株会社

NTT持株会社前抗議集会



に申入れを行った。その後、厚労省前集会、デモと全労協の労働者とともに一日行動を共にした。

4月19日には、「春の共同行動かながわ」が行われ、電通労組とともに神奈川支店前で「介護休業法を遵守しろ」と訴えた。その後、支店に申入れを行った。